年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度 教科　　地理歴史　　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　2 学年

使用教科書：（『明解　歴史総合』（帝国書院）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】地理・歴史に関する基礎・基本的な知識や、資料の読み取りに関する技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】資料の読み取りや既習事項との関連付けを、対話的な学習等を通じて行い、自らの考えをまとめそれを文章などで表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】日々の継続した学びの中で、自ら設定した問いに対して粘り強く探究する態度を涵養する。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化について、世界とその中の日本ととの関係性に留意しながら基礎・基本的な知識を理解する。 ・歴史に関する諸資料から様々な情報をを読み取り、適切に調べ、まとめる技能を身に付ける。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などに着目して、資料を読み取り、概念や既習事項と組み合わせながら、設定された問いに対して考察し、文章で表現したり、また自らの問いを表現したり構想したりする。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を追究、解決していくために、日々の学習にやりがいを持ち、継続的な学習を行うとともに、主体的に授業に参加する。 ・自ら設定した問いに対して、粘り強く探究する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点 知	思	態	配当時数
前期	単元：歴史の扉 ・身近な題材を用いて、私たちと歴史の関わりについて理解・考察させる。 ・歴史の特質を理解させ、資料の読み取りの技能を習得させる。	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	○評価物について 【知識及び技能】 考査 【思考力、判断力、表現力等】 考査・ワークシート 【学びに向かう力】 出席状況・平常点・ワークシート	○	○	○	2
	単元：結びつく世界と日本の開国 ・18世紀のアジアの経済や社会について、多角的・多面的に理解・考察させる。 ・ヨーロッパの工業化と世界市場の形成について、市民の登場、市民革命の発生、産業革命の発生という経緯を理解させ、国際分業体制が成立したことを考察させる。	○近代化への問い ○江戸時代の日本と結び付く世界 ・アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ○欧米諸国における近代化 ・イギリスの革命とアメリカの独立 ・フランス革命 ・産業革命で変わる社会 ・イギリスの繁栄と国際分業体制	○評価の方法 評価物を点数化し、３観点それぞれでＡ～Ｃをつける。合算の際には１：１：１の割合で合算し、重みづけは行わない。	○	○	○	10
	単元：国民国家と明治維新 ・立憲体制と国民国家の形成について、ヨーロッパで近代化が進行する中で、国家体制が変容し立憲体制へ移行したこと、また国民国家が成立したことを理解させる。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について、欧米列強が帝国主義政策をどのように進めたかを理解させる。その影響を受けたアジア諸国がどのように対応したのかについて、比較させ、理解・考察させる。	○近代化の進展と国民国家形成 ・1848～近代ヨーロッパの転換点 ・イタリア・ドイツの統一 ・アメリカの拡大 ・帝国主義と世界の一体化 ○アジア諸国の動揺と日本の開国 ・「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ・南・東南アジアの植民地化 ・ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争		○	○	○	14
	単元：第一次世界大戦と大衆社会（前半） ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について、史上初の総力戦の特色を理解・考察させる。その後の構築されたヴェルサイユ体制について理解・考察させる。	○第一次世界大戦と日本の対応 ・総力戦となった第一次世界大戦 ・ロシア革命と大戦の終結 ○国際協調と大衆社会の広がり ・ヴェルサイユ体制の成立		○	○	○	6
後期	単元：第一次世界大戦と大衆社会（後半） ・大衆社会について、出現の背景や特色について理解させる。日本においては大正デモクラシーを中心に大衆社会について理解・考察させる。	・大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ・日本における大衆社会の形成		○	○	○	6
	単元：経済危機と第二次世界大戦 ・経済危機について、世界恐慌が発生した原因やそのメカニズムについて理解させ、各国の対応と、その中でファシズム国家が台頭したことを理解・考察させる。 ・第二次世界大戦について、その展開を理解と結果について理解させる。	○日本の行方と第二次世界大戦 ・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍		○	○	○	14
	単元：冷戦と世界経済 ・国際政治の変容について、大戦終結後から冷静構造の構築までの推移について理解させる。その後冷戦下で発生した出来事を理解し、冷戦構造そのもの変容について考察させる。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について、冷戦下世界の構造を理解させ、その中での日本の国際的な役割や、社会の変容について多角的・多面的に理解・考察させる。	○再出発する世界と日本 ・戦後の新たな国際秩序 ・冷戦の始まり ・日本敗退後の東アジア ・日本の改革と独立の回復 ○冷戦で揺れる世界と日本 ・アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ・冷戦下における日本の復興 ・第三勢力の形成と脱植民地化 ・中東戦争とパレスチナ問題		○	○	○	14
	単元：世界秩序の変容と日本 ・市場経済の変容と課題について、多極化する世界の中で、アメリカの権威がゆらいだことや、各地域での経済活動に変容がみられたことを理解させる。 ・冷戦終結後のグローバル化が進む国際政治の変容と現代社会に残る諸課題について理解・考察させる。	○多極化する世界 ・揺らぐアメリカと先進各国の変化 ・経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ・イスラーム復興と冷戦への影響 ○グローバル化のなかの世界と日本 ・冷戦の終結と変わる世界構造 ・超大国アメリカと中東情勢 ・国際環境の変化と日本 ・グローバル化による国際社会の変容					12 合計 78